

## 【演習②】 出会いの場面

設定 8月●日(土) 14時 ○×精神科病院  
入院者訪問支援員(以下支援員)AとBが面会のために病棟まで訪問  
病棟ナースに案内されて面談室にて入院者Cと初めての面会

支援員A こんにちは、はじめまして。わたしは○○センターのAです。

支援員B わたしはBといいます。 よろしくお願ひします。

(入院者C やや緊張した面持ちで)

入院者C こんにちは、Cです。

支援員A 今年は猛暑らしいですけど、今日は特に暑いですね～、汗びっしょりです…

(支援員A ハンカチを取り出し汗なんかをぬぐう)

入院者C そうなんですね…病棟にいると暑さがわかんないけど…

(支援員A カバンからセンターのパンフレットを取り出し、机の上に置き)

支援員A 先日○○センターにお電話くださったCさんですね。お電話ありがとうございました。

(入院者C すこし緊張も解けて)

入院者C はい、同じ部屋にいたDさんが退院したし、俺も退院できないかなと思って…

支援員A そうなんですね…

お話を聞きする前に、私たちのできる事とか少しお伝えしますね。

私たちが病院に面会に来ることで、費用が掛かったりすることはありません。

(支援員A 入院者Cが理解されたことを表情で確認して)

また、今日お話を伺ったことを勝手に主治医の先生や病院の職員さんに報告したりすることはありません。Cさんが病院の方に伝えてほしいということなどがあれば、一緒に伝えに行ったり、代わりにお伝えしたりもできますので、安心してお話してください。

そのほか、私たちのできることについては、このリーフレットにも書いてあるので見ておいてください。

(入院者C リーフレットを手に取り眺めている)

支援員B 大事な話を忘れないように、メモ取らせてもらっていいですか？

(支援員B 了承してもらえたことを確認して、机の上にメモを入院者C 見えるようにおいてメモする)

支援員A 今日は「退院」についてということですが…

(入院者C 体を前のめりにして)

入院者C 家族に電話しても話聞いてくれなくて、退院に反対みたいなんだよね。

## 演習シナリオ

- 支援員 A そうなんです…ご家族はどうして反対されてるのでしょうか？
- 入院者 C ちょっと、迷惑かけたし…「もう一緒には暮らせない」って前に言われたし…でもどうしたら退院できるのかな？
- 支援員 A 少し、お聞きしてもいいですか？
- (支援員 A 入院者 C がうなづくのを確認して)**
- Cさんは入院してどのくらい経ちますか？
- 入院者 C 3か月くらいになるかな？
- 支援者 A 主治医の先生とは、退院の相談、されていますか？
- 入院者 C はい、主治医もだいぶ良くなったって言ってくれているけど、退院していいとか、ダメとかは言ってない。
- 支援者 A そうなんです、病院には主治医のほかに退院などの相談に乗ってくれるソーシャルワーカーがおられますが、相談されていますか？
- 入院者 C 看護師さんにはいろいろ聞いてもらってるけど…

### 【演習③】 実際の相談場面～傾聴と支援員の役割～

#### 相談例1の設定

9月●日（土）午後14時 ○×精神科病院

入院者訪問支援員（以下支援員）AとBが病棟まで2回目の訪問  
面談室にて入院者Cと面会

支援員A こんにちは。○○センターのAです。

支援員B わたしはBといいます。よろしくお願いします。

（入院者C 前回出会った2人なので、少し安心して）

入院者C この前に来てくれた人ですね？

支援員A Cさんですね？前回来たのが8月○日なので…ひと月ぶりですね。  
前回はとっても暑い日でしたが、もう朝夕は涼しいくらいですね…

入院者C そうか…そんなに経つんですね…

支援者A そうですね…ところで、先日話されていた退院についての相談はどうなりましたか？

入院者C うん、Dさんというワーカーさんに相談できて、今度グループホームの見学に行ける事になりました。いろいろありがとう。

支援者A （満面の笑顔で）それはよかったです。

入院者C それで、今日は別のことで相談したいんです。いいかな？

支援員A もちろんです。どんなお話ですか？

支援者B あ、今日もメモ取らせてもらいますね。

（支援員B 机の上にメモを出し、了解してくれていることを確認する）

（入院者C こんなこと言ってよいのか…と思案しながら）

入院者C お風呂に入りたいんです…

（支援者A お風呂は多くの病院が週に3回くらいだったかな？と思いながら）

支援員A お風呂に入れていないんですか？

入院者C （首を横に振り）週に月水金3回です。

支援者A ……

（支援員A あれ、週3回は入れてるんだ…どうしよう？と言葉に詰まる）

（支援員B 支援員Aが言葉に詰まった様子を見て）

支援者B Cさんにとっては、週3回のお風呂では少ないんですか？

入院者C そうなんだよね…入院する前は、家では毎日お風呂入ってたから。  
皮膚科の先生から「毎日清潔にするように」と言われてて…  
なにより、お風呂が好きなんで…

## 演習シナリオ

(支援者 A 少し気持ちがわかってホッとして)

支援者 A そうなんですね。お肌のことが気になるんですね…お風呂のない日の皮膚を清潔にすることが気になられるのですか？

入院者 C う～ん。お風呂のない日も頼んだらシャワー使えるし、皮膚をきれいにはできているんだけど…なんか、お風呂に入った気がしないんです。

支援者 A Cさんにとって、「お風呂に入った！」と思えるのはどんなことなのでしょう？

入院者 C 温泉みたいな、のんびり…家では入浴剤とか使ってたなあ…

支援者 A 入浴剤…ですか。

(支援者 A 「う～ん、それはむつかしいかな～」と思いながら)

病棟のお風呂に入浴剤入れてよいか尋ねてみる…のも…

入院者 C それは無理じゃないかと思うんだけど…

支援者 A はい…

入院者 C ゆっくり入りたいなあ…、なんか順番とかあって、せかされるような気がして…

支援者 A そうなんですね。次に入る人のことが気になってゆっくりできないと感じられるんですか？

入院者 C そうなんです。

支援者 A どうしたら、ゆっくりお風呂に入れるのでしょうか？

入院者 C 部屋ごとに順番に入ることになっていて、部屋の中での順番は看護師さんが声かけてくれていて決まるみたい…

支援者 A 看護師さんが、必要に合わせて順番を考えて下さっているのかもしれないですね…

入院者 C うん、なんかそんなことも言ってた気がする。

支援者 A 皮膚のこともあるので、一度担当の看護師さんに入浴回数や入浴の順番を最後に回してもらえないかななどを相談してみてはどうですか？

### 相談例 2 の設定

9月●日(土)午後14時 ○×精神科病院

入院者訪問支援員(以下支援員)AとBが面会のために病棟まで訪問

病棟ナースに案内されて面談室にて入院者Cと2回目の面会

支援員 A こんにちは、○○センターのAです。

支援員 B わたしはBといます。わたしははじめまして…です。よろしくお願いします。

入院者 C こんにちは。

支援員 A 前回訪問させてもらってから、一カ月経ちますね…その後いかがですか？

入院者 C ま…ぼちぼちかな。調子はいいいよ。

## 演習シナリオ

- 支援員 A 前は、退院したいけどどうしていいかわからない…という事でした。  
主治医の先生に相談してみる…という事でしたが、どうでしたか？
- 入院者 C うん、Aさんと相談してから、××先生に退院について話してみました。  
**(支援員 A B うんうん、とうなづき話を促す)**
- 入院者 C そうしたら、だいぶ良くなってきたし、外泊とか繰り返して退院と言われた。  
それで、その日に親父に電話してそのこと言ったんだけど…「ダメ」って言うんです…
- 支援員 A **(笑顔で)** 先生は退院してもよい状態と言ってくれているんですね。  
お父さんはなぜ反対されるのでしょうか？
- 入院者 C ……仕事で忙しくて面倒見られないとか、最後にはけんかになって電話切れてしまったんだよね…  
Aさん、親父を説得してくれないかなあ??頼みます!
- (支援員 A どうしたらよいか…と支援員 B と顔を見合わせる)**
- 支援員 B お父さんやお母さんは面会に来てくれたりしているのですか？
- 入院者 C ほとんど来てくれてない…
- 支援員 A 私たちは、ご家族との連絡や調整などはできないのですが、病院にはソーシャルワーカー、相談員がおられるのですが、相談されていますか？
- 入院者 C ……何回か話したことあるけど、退院とかの話はしたことないなあ～
- 支援員 A お名前とか覚えておられますか？  
**(入院者 C 首をかしげる)**
- 支援員 A 一度看護師さんにソーシャルワーカーに相談してみたいと伝えてみてはどうでしょう?ご家族に連絡したり、今後のことを一緒に相談に乗ってくれたりしてくれると思いますよ…
- 入院者 C わかった、言ってみる。  
でも、家族がダメと言ったら退院できないの?
- 支援員 A そんなことはないですよ。ご家族ともよく話してみるのが良いとは思いますが、いろいろな福祉のサービスを使いながら生活することもできるんですよ。
- 入院者 C 福祉のサービスって何?